

県議会議員

あらい、絹世の磯っ子レポート

県政をもっと身近に



<http://www.araikinuyo.jp>

精神科、小児、透析患者など専門的な対処も 神奈川県が新型コロナ医療提供体制を整備

新型コロナウイルスの世界的な蔓延が止まらず、わが国でも東京をはじめとする感染者の増加が懸念されています。東京に隣接する神奈川県でも感染の勢いが衰えないなか、県がさまざまな感染症対策医療提供体制づくりに取り組んでいます。5月に、「感染症の患者は一律入院させるという措置が取られてきたものを、症状により入院する施設を分ける体制」を打ち出した「神奈川モデル」をいち早く打ち出し、その後、同モデルのハイブリット版の中で、入院が必要と診断された中等症の患者を受け入れる重点医療機関としての18カ所を決めるなどしてきました。その後7月までに、精神科、周産期、小児、人工透析患者、在宅の難病患者など治療・医療受け入れの困難な人たちへきちっと対応するための専門的な医療体制づくりも進めてきましたが、その他の取り組みを含め今後は、これらをうまく活用し、感染拡大を防いでいきたい、としています。

専門的な医療体制づくりとして県がいち早く取り組んだのが「精神科コロナ重点医療機関」の設置。これは横浜市港南区の県立精神医療センターと鎌倉市植木に県が臨時で設置する医療施設（湘南鎌倉総合病院が連携機関として参画）で、5月から患者の受け入れを始めています。続いて妊婦、新生児の命をまもる「周産期コロナ受入医療機関」を設置。横浜市立大学附属市民総合医療センター、小田原市立病院など各地域の基幹病院はじめ25程度の医療機関が受け入れを行っています。子どもの命をまもるものとしては「小児コロナ受け入れ医療機関」30~40カ所、「保護者がコロナで入院等の際に子どもを受け入れる専用の児童福祉施設」として座間市の成光学園、厚木児童相談所、おおいそ学園の3カ所を設置しました。

6月には人工透析患者らの受け入れ医療機関として26医療機関を用意。これらの入院にあたっては病床利用状況把握システムを用いて医療機関間で調整しますが、困難な場合は4つのブロックごとの調整機関のコーディネーターが相談に応じます。7月から動き出している「介護者がコロナ入院で不在となった在宅の高齢者・障がい者を受け入れる専用入所施設」の設置では、陰性用の短期入所協力施設5カ所、陽性用のケア付き宿泊療養施設として2カ所を見込みました。他にも同ウイルスのPCR検査に当たり持ち運びのできるケース型の機器を開発し、100セットを生産。購入希望を募っています。また同感染症神奈川県対策本部に医師など専門家による「神奈川クラスター対策チーム」を創設。すかさずのクラスター対策に備えています。

コレが言いたい!

県では、即時患者受け入れを行うことについて医療機関と合意している「即応病床」と、要請後一定の準備期間の後に患者の受け入れが可能な「準備病床」を設定しています。7月17日「神奈川警戒アラート」が発動されたことから、一般の病床にも配慮しながら今後の感染状況をしっかり注視し、医療従事者の負担、医療機器・物資の供給などを考慮しながら病床の確保を行っていく必要があります。また、8月末で一部の宿泊療養施設の借上げ契約が切れることから、感染拡大に備えて新たな宿泊療養施設の確保も必要です。

今月のひと言

新型コロナウイルス感染拡大の影響で全国高校野球選手権大会と神奈川大会が中止されたことを受け、8月1日から23日に代替の「令和2年神奈川県高等学校野球大会」が開催されます。磯子区内の高校の初戦は、横浜学園:8月2日10時、横浜水取沢:8月2日14時半、磯子工業8月5日14時半からとなります。

磯子あれ? これ? 『密蔵院』(磯子区滝頭)

滝頭山密蔵院明王寺、が正式名称ですが、今は院号で「密蔵院」と言われています。

正確には何時の開基かわかりませんが、境内にある墓石を調べたところ慶長4(1599)年のものが一番古く、中興開山されたのはこの頃と思われます。

当院は、南区堀の内にある宝生寺の住職の隠居所として開かれた後、寛永4(1633)年、同寺の末寺として関東古義真言宗本末帳に記されています。

本堂には、鎌倉時代に流布された十王思想(人は、亡くなるとあの世で十人の王の審判を受け、極楽か地獄へ導かれるとの教え)の閻魔大王はじめ、十人の王と奪衣婆(だつえば)(三途の川のほとりにいて、川の渡し賃六文を持っていない亡者の衣服をはぎ取る鬼婆)の木像が安置されています。

当院は、大正9(1920)年に横浜市内観音霊場第二十四番札所とされました。

また大正7(1918)年に始まった磯子七福神の布袋尊を祀り、毎年1月の「磯子七福神めぐり」には、区内外から多くの参拝者が訪れています。

参考:磯子の史話



活動報告

7月6日(月)、委員長を務める予算委員会が開催されました。



◎ぐるなびと連携します!

神奈川県では、飲食店を含む店舗・施設等で実施されている感染防止対策を利用者の皆様へ分かりやすく示す「感染防止対策取組書」を発行していますが、8月1日よりこの取組書を登録している飲食店を、「ぐるなび神奈川版」に掲載することになりました。警戒アラートが発動された事で、県ではこの「感染防止対策取組書」を掲示していないお店にはいかなないようにお願いをしています。



あらい絹世 プロフィール

- 昭和43年3月8日 横浜市磯子区生まれ
- 横浜雙葉小・中・高等学校卒業
- 明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- 日商岩井(株)/株メタルワン
- 自民党かながわ政治大学12期生
- 平成31年4月 県議会議員3期目当選
- 産業労働常任委員会委員
- 議会運営委員会委員
- 予算委員会委員長
- かながわ自民党女性議員局長

